

## 令和3年度 第1回医療連携推進会議 会議内容概要

日 時	令和4年3月14日（月）午後2時～3時30分
開催場所	ウェブ会議（Zoom会議） 近江八幡市総合福祉センターひまわり館 1階ホール
出席者	櫃本会長、高田委員、磯矢委員、田村委員、角野委員、辻井委員 計6名
欠席者	宮下副会長、柴田委員、田中委員
傍聴者	なし
事務局	長寿福祉課
議事事項	第8期 総合介護計画 目標達成に向けた取組について（医療連携推進会議分）
内 容	<p>○開会あいさつ（長寿福祉課長）</p> <p>○委員紹介</p> <p>○配布資料確認</p> <p>○会長・副会長選出（櫃本会長、宮下副会長）、就任あいさつ（櫃本会長）</p> <p>○報告事項</p> <p>【議事】第8期 総合介護計画 目標達成に向けた令和3年度の取組について 事務局より、昨年度策定した第8期計画について計画の体系を説明するとともに、目標達成に向けて作成した具体的な事業計画「在宅医療・介護連携推進事業計画」に沿って取組内容とその結果・効果について、意見を求めた。</p> <p>&lt;主な意見等&gt;</p> <p><b>方向性5 支え合いのしくみづくり（在宅医療と介護の連携強化）に関して</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常にポジティブな目標設定をされている。医療・介護連携というどうしても介護度の高い方や社会的弱者と言われる方に注目しがちになるが、自立支援、重症化防止、共生社会づくりといったところに目標が明確になってきている。</li> <li>・咀嚼能力の維持・向上が認知症に有効であるというエビデンスがいっぱい出ており、そういうところで歯科としては、支援したい。</li> <li>・薬をいかに飲んでいただくかということも大事ですが、（不要な）薬を減らすというか、処方医師と連絡を取り必要な薬を最低限飲んでいただけるような支援にも薬剤師の機能が発揮できる。</li> <li>・今までは、住民主体のいきいき百歳体操や市が実施している催しなどにみんなが参加して、できるだけ外で人との繋がりができるようにしてきたが、今はそれが家の中で完結してしまっているのをすごく感じている。その辺りが今後のアフターコロナで課題となっていくのではないかと思う。</li> <li>・いざという時にセルフケアだとかいわゆる共生社会の中で互いに支え合うとか、地域の繋がりがないと専門家支援だけでは、非常に厳しい状況になる。</li> <li>・専門家として協力するだけでなく、いかにセルフケア力の向上や地域の力を引き出していくかということに、日常的に専門家や行政が関わることの意義や役割が明確になった。</li> </ul>

## ○審議事項

【議事】第 8 期 総合介護計画 目標達成に向けた令和 4 年度の取組について事務局より、昨年度策定した第 8 期計画の目標達成に向けて、次年度の取組（案）を示し、方向性や取組内容について意見を求めた。

## &lt;主な意見等&gt;

## 方向性 5 支え合いのしくみづくり（在宅医療と介護の連携強化）に関して

- ・医療・介護専門職が、市民が参加する場面へ日常的にアウトリーチをかけていく時代になった。
- ・困った人を救うだけでなく、予防やそのためのセルフケア力を養ったり、あるいは地域住民として共助力を高めることに専門職が関わっていくことが大事。
- ・医療・介護が地域と繋がることによって、いかに元気高齢者を地域にお返しすることができるか、いかに支えられる人を支える人として地域に送り出し、地域で支えていけるかどうか地域包括ケアのポイントが移ってきている。
- ・元気高齢者というのは、高齢者になってからでは作れない。若いうちから作っていかないといけない。若い時の積み重ねがあってこそ元気高齢者になれるのであり、65歳、70歳でフレイル予防を始めても維持するのが精一杯である。
- ・コロナ禍で、代替サービスが調整できなかったときに家族や近隣の支援で何とか生活を維持されたケースがあり、インフォーマルな支援への意識を持つことの必要性やケースの潜在的な強みを引き出すことの重要性を改めて認識できた。
- ・コロナのワクチン接種を通じて、住民の健康への関心が高くなってきていると感じている。基礎疾患がある方には、接種を勧めているが、そういう疾患にならないようにどうしたらよいかという問合せもある。
- ・歯科では、学校教育の中でヘルスプロモーションという考え方で、子供たちが自分で問題を見つけ、自分で解決させるという教育をしている。そういった事も踏まえて、高齢者の問題も考えて欲しい。

【次年度の方向性および取組内容について、異議はなく承認をいただく。】

## ○その他 特になし